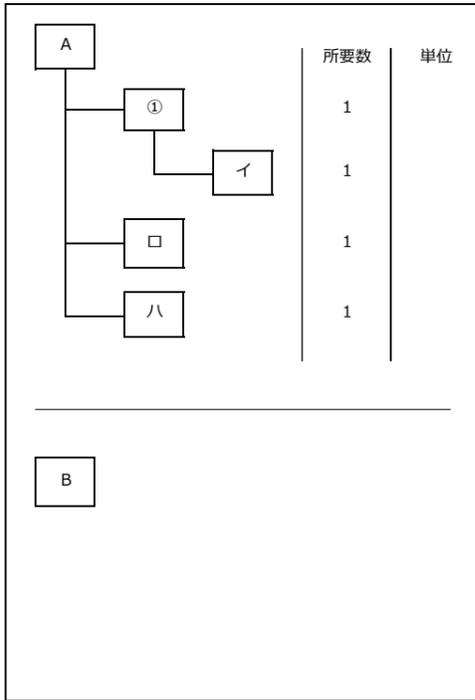


<部品表>



<品目マスタ>

品番	品名	単位	品目区分		科目		品目分類		工程区分
			コード	名称	コード	名称	コード	名称	
001	A		1	製品	161	製品			組立
002	①		2	半製品	162	原材料			インジェクション
003	イ		3	部品	162	原材料			購入部品
004	□		3	部品	162	原材料			購入部品
005	八		3	部品	162	原材料			購入部品
006	B		1	製品	161	製品			購入製品

<組番号マスタ>

組番号	組		品目		部門	
	名称	コード	名称	コード	名称	コード
I-1					インジェクション	
I-2					インジェクション	
I-3					インジェクション	
I-4					インジェクション	
I-5					インジェクション	
I-6					インジェクション	
B-1					フロー	
B-2					フロー	
B-3					フロー	
B-4					フロー	
B-5					フロー	
B-6					フロー	
A-001	A	001	A		組立	

- 品目区分は、部品表登録時にシステムで必要とする項目です。
- 品目分類は、管理上品目を分類する項目です。
- 工程区分は、日報登録時に、部門と組み合わせて選択範囲を絞るための項目です。

○ 組番号

インジェクション、フロー：マシン別番号（固定）
組立：製造する品目コード

インジェクションは、「I-X」
フローは、「B-X」
組立は、「A-〇〇〇〇〇〇」

<計算処理>

- 倉庫は、品目別に在庫高計算を行なう
 - ・ 月次総平均法による
 - ・ 製品仕入れの場合は、倉庫へのインプット時に購入経費を上乗せする

- 製造工程は、組番号別に原価計算を行なう
 - ・ 組別総合原価計算による
 - ・ 一つの組番号で複数の品目を製造する場合、（インジェクション、フロー）は、組番号原価を各品目に按分計算する

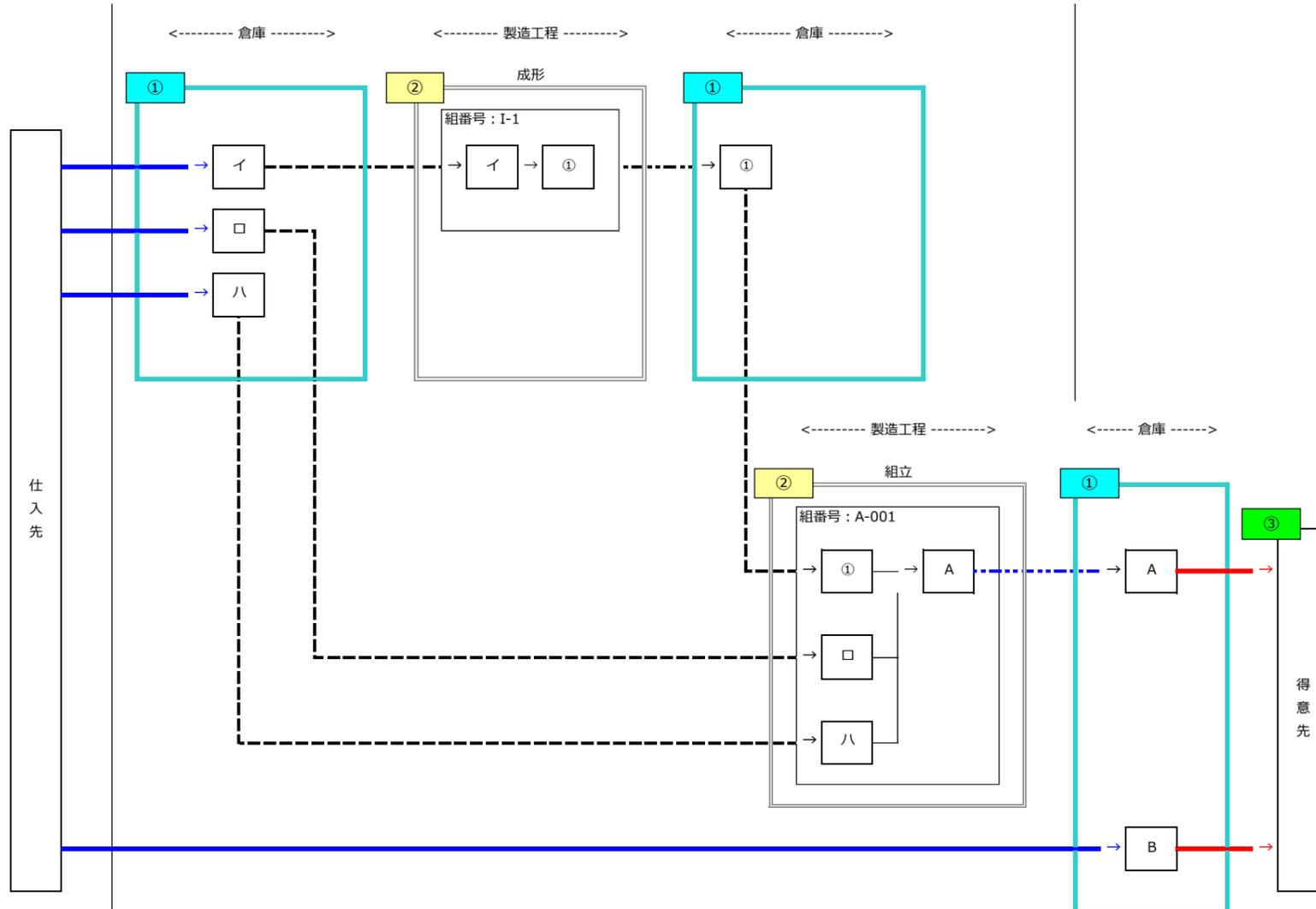
- 売上、損益計算は、売上データ（伝票明細）毎に作成する
 - ・ 得意先別、品目別に集計可能

<アウトプット>

① 在庫品台帳

② 原価計算表

③ 売上・損益表



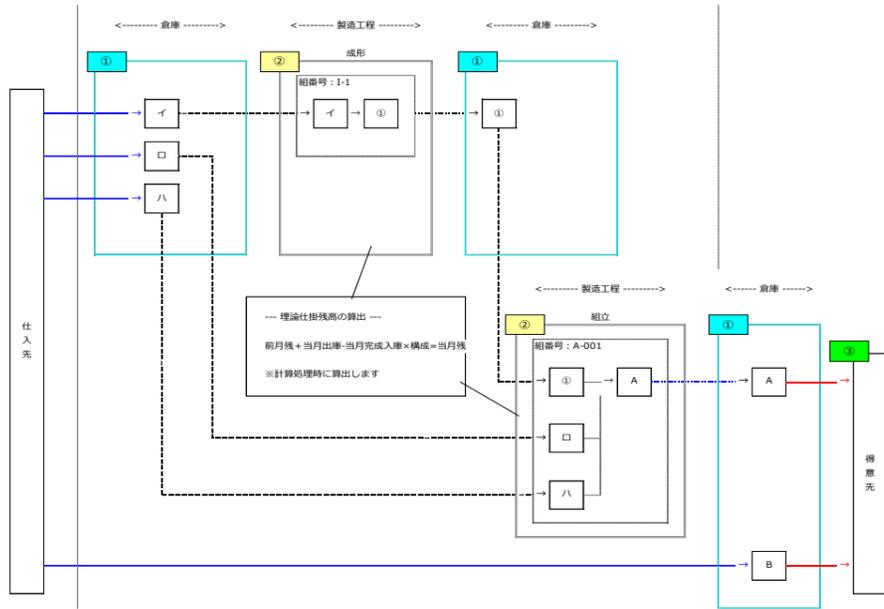
- 仕入登録
- 日報（インジェクション、フロー） -.-.-.- 日報（組立）
- 一括出庫 ※日報登録時に組番号に対する出庫データを生成
- 出庫登録
- 売上登録

棚卸登録 ①倉庫：「棚卸登録（在庫品）」 → 「減耗データ登録」
※随時可能（品目別に可能）

②製造工程（仕掛品）：棚卸登録（仕掛品）
※月末時点で行う（組毎）

<注意事項>

組立（社外）は、一括出庫を行わない → 出庫登録で行う
有償支給は、原価に入らない



<計算処理> 原価計算タブ → 計算 → 計算処理

○ 月単位で再計算を行う→月次で確定(繰越)

①
<在庫品台帳>
原価計算タブ
↓
結果情報
↓
在庫品台帳

○ 当月の単価は月次総平均法による

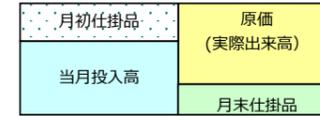
年月	部品番号	数量	金額
xxxx/10	A	前月末在庫	10 1,200
		当月入庫	50 4,800
		合計	60 6,000
		当月単価	100

原材料、部品の購入
自製の部品(成形)の完成入庫
製品の購入(購入金額+購入金額×購入経費率)

年月	部品番号	当月単価	前月末在庫		入庫		出庫		当月末在庫		
			単価	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
xxxx/10	A	100	120	10	1,200	50	4,800	40	4,000	20	2,000

②
<原価計算>
原価計算タブ
↓
結果情報
↓
原価計算表(総合)

○ 原価計算は、組別総合原価計算による



XXXX年XX月度
組番号: XX-XXXX

	月初仕掛品	月末仕掛品	投入高	実際出来高
材料費	100	50	300	350
加工費			20	20
経費			10	10
合計	100	50	330	380

原価(実際出来高) = 月初仕掛品 + 当月投入高 - 月末仕掛品

投入高: 組番号別に下記にて把握

原価費目	説明
材料費	原材料、購入部品、自製部品の出庫数量×当月単価
外注加工費	組立工程にて外注に部品を無償支給し完成品が納品された場合に発生する(支払対象となる)外注加工費
直接経費	当該組番号にて購入した経費(組番号に直課した経費)
労務費	実績工数(マン工数)×労務費賃率
設備費	実績工数(マシン工数)×設備費賃率 ※賃率は、ブロー、インジェクション、組立別に設定
製造経費	実績工数(マシン工数)×製造経費賃率

○ 品目別原価

- ・原価(実際出来高)は、組番号別に算出される。
- ・一つの組番号で、複数の品目が製造される場合(成形工程)は、組番号別の実際出来高(材料費)を基準材料費(部品表から集計)で按分する。